

**ピープル株式会社**  
(コード7865)

ホームページ<http://www.people-kk.co.jp/>

**2010年1月期第3四半期(2009/7/21～2009/10/20)の業績概況、並びに  
2010年1月期 2月度～12月度累積の業績動向**

(2010年1月期の期末決算日：2010年1月20日)

## ＜売上の概況＞

### ◆第3四半期(2009年7月21日～2009年10月20日)

売上高809百万円(前年同期間比 9.0%増)

営業利益109百万円( " 20.7%増)

当33期(平成22年1月期)の第3四半期の玩具市場全般では、一層個人消費低迷の影響が漂い、低単価商品の特定品のヒットはあるものの、全体を牽引するヒット商品には市場全般的に不足し、厳しい状況が続いています。当四半期は販売店舗によるお盆商戦やシルバーウィークなどのキャンペーンで、消費喚起の度に補充注文が誘導され、その後萎むといった具合に、需要は不安定で安売りの限界を迎えたかのように苦戦が続いています。

こうした玩具市況の中、当社の3歳未満の強力なコンセプト商材においては、消費低迷対策による安売りの直撃を免れながら、第3四半期に入り8月度のお盆商戦明け頃まで堅調な補充が続いてきました。しかし、玩具では当年度業績を左右する年末需要期を睨み、各社の計画商談に左右される10月度で仕入れ調整され、当四半期実績に影響し始めました。しかし一方で、消費低迷の影響を受けず実需要で前年対比消費者動員数が成長路線に乗った自転車の販売が飛躍し、第3四半期会計期間の売上高を前年同期間実績対比9.0%増まで持ち上げた為、当33期第3四半期までの累計の売上高は20億6百万円、前年同期間実績対比9.8%増と上半期の増収を継続しました。

### ◆11月度・12月度(2009年10月21日～2009年12月20日)

売上高790百万円(前年同期間比 16.0%増)

営業利益214百万円( " 比 63.3%増)

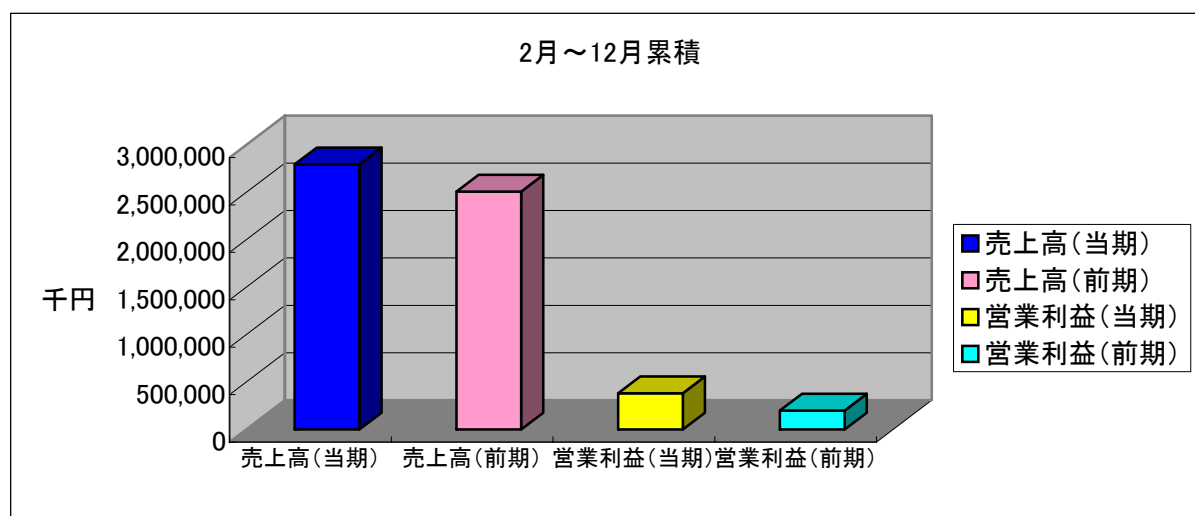
当11月度の売上高は、3億76百万円、前年同月比25.4%増となり、流通段階の積込み出荷がようやく本格的に動き出したと言えます。消費低迷による先行き不透明感から、年末商戦開始月10月度の仮需要が前年同月に比べ2割程、当11月度にずれ込んだと見ています。

前年と同様に当12月度の実需要は、クリスマス直前の12月21日以降のわずか3日間(当社月次では1月度)終了まで不透明のまま推移し、特に12月初めの1週間にまとまって出荷した以降、当月20日までに戻つぼみの補充となる傾向を強めました。但し、女兒玩具カテゴリーだけは例外で、12月20日に向け追加出荷依頼が重なり、予想を超えて当月売上高に影響し、当月売上高は4億14百万円、前年同月比8.5%増まで持ち上がりました。

### ●2010年1月期2月度～12月度

売上高2,796百万円(前年同期間比 11.5%増)

営業利益382百万円(前年同期間比 91.0%増)



<カテゴリー売上高推移>

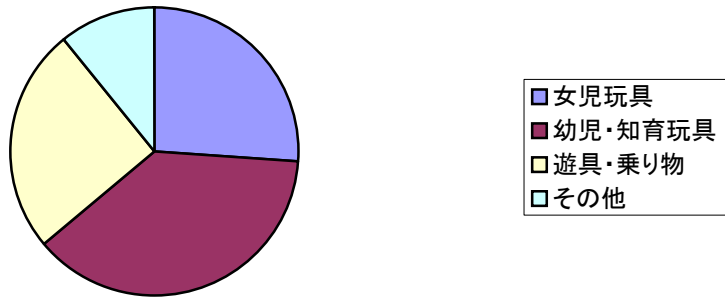
(単位:千円)

商品カテゴリー名	第1四半期売上高(当期) (2009/1/21~2009/4/20)	前年同 四半期 比	第2四半期売上高(当期) (2009/4/21~2009/7/20)	前年同 四半期 比	第3四半期売上高(当期) (2009/7/21~ 2009/10/20)	前年同 四半期 比
乳児・知育玩具	222,511	109.9%	210,813	94.0%	317,231	90.6%
女児玩具	158,977	112.9%	133,474	98.0%	187,321	95.7%
遊具・乗り物	174,755	161.0%	172,165	111.4%	206,010	138.4%
その他	55,918	119.1%	68,154	95.9%	98,919	207.6%
合計	612,161	122.7%	584,616	99.7%	809,480	109.0%

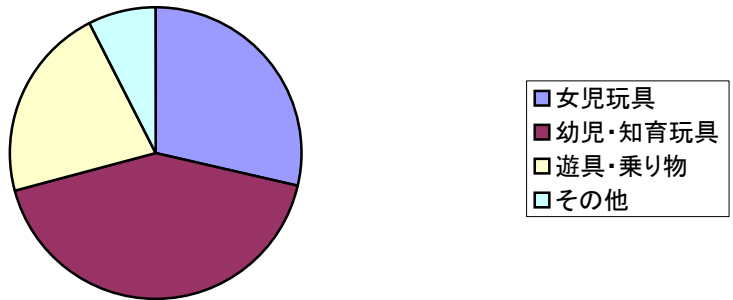
商品カテゴリー名	11月度売上高(当期) (2009/10/21~ 2009/11/20)	前年同 月比	12月度売上高(当期) (2009/11/21~ 2009/12/20)	前年同 月比
乳児・知育玩具	182,873	161.2%	127,742	78.1%
女児玩具	95,224	88.7%	153,317	110.5%
遊具・乗り物	66,722	104.3%	83,591	117.9%
その他	30,990	207.0%	49,226	605.9%
合計	375,810	125.4%	413,876	108.5%

＜カテゴリー構成比の2～12月度累積、前年同期対比＞

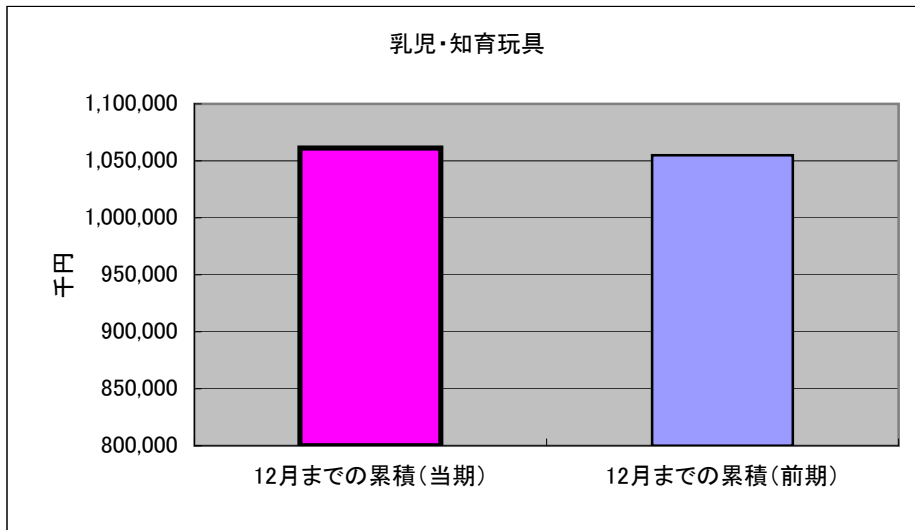
2010年1月期 2月度～12月度累積構成比



2009年1月期 2月度～12月度累積構成比



## <乳児・知育玩具>



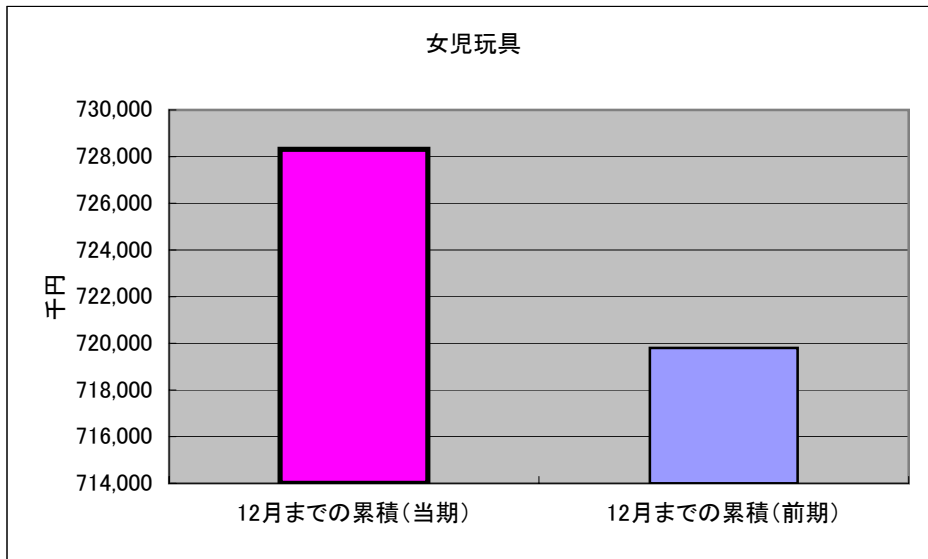
### 【第3四半期】

乳児・知育カテゴリーでは、「熱中知育ボックス」(7,140円税込み)を当第3四半期で3年ぶりにリニューアル発売し、好調な販売を開始しました。大型で高額な商品群“熱中知育シリーズ3品”は5千円未満の商品群よりも消費低迷の影響が少なく、他社に競合の無い強味を見せています。

### 【11~12月度】

前年に無い知育商材で、「おちゃんこの知育」や「熱中知育ボックス」等がチラシ重点アイテムで注目され、仮需要出荷に貢献しています。

## < 女児玩具カテゴリー >



### 【第3四半期】

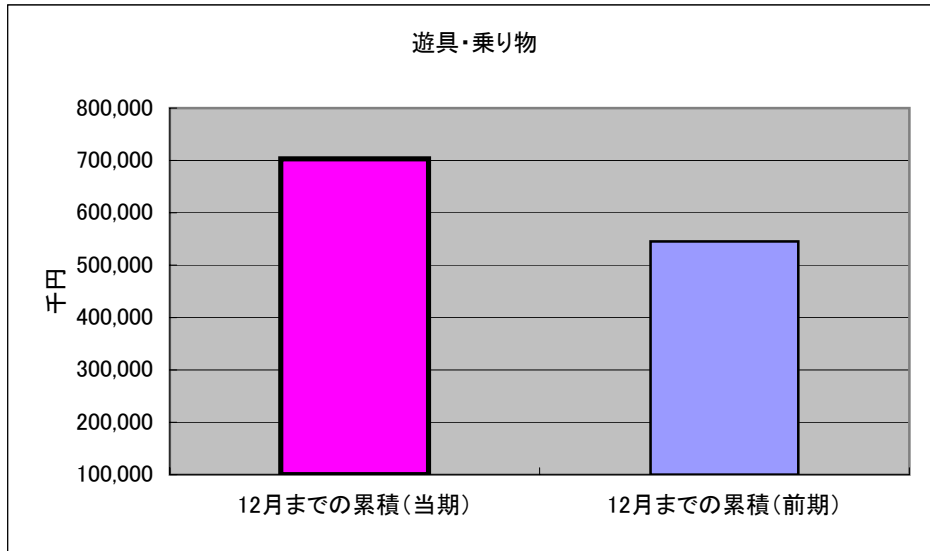
知育玩具等に比べると競合の激しい女児玩具カテゴリーでは、お人形と遊ぶ事で2歳の「トイレトレーニング」に役立つおもちゃ「ぽぽちゃんのおしゃべりトイレ」(税込み価格1,659円)のヒット等が牽引し、流通段階で商材が見直され、人形市場低迷の影響を受けつつも縮小幅を穏やかに抑えながら推移しています。また、前年に無い「エコ」を遊びにした「エコパピエ」4,179円(税込み)も当第3四半期売上を支え、上半期からの同カテゴリー累計売上アップに貢献しています。

### 【11~12月度】

「エコパピエ」の指名買いが過熱し、追加注文が相次ぎました。12月中旬には早くも年明け補充用在庫まで完売し、クリスマス後には、「何処の店にも無い、どこで売っているのか」等の問い合わせ電話が殺到しました。

人形市場全般の低迷縮小により流通から過小評価されていた「ぽぽちゃんシリーズ」が、流通の予約注文を15%もオーバーして補充され、当月カテゴリー売上高を支えました。ぽぽちゃんは競合他社の抱き人形に比べ最も高額品ですが、不況の中にコンセプトの強さを見せました。

## <遊具・乗り物>



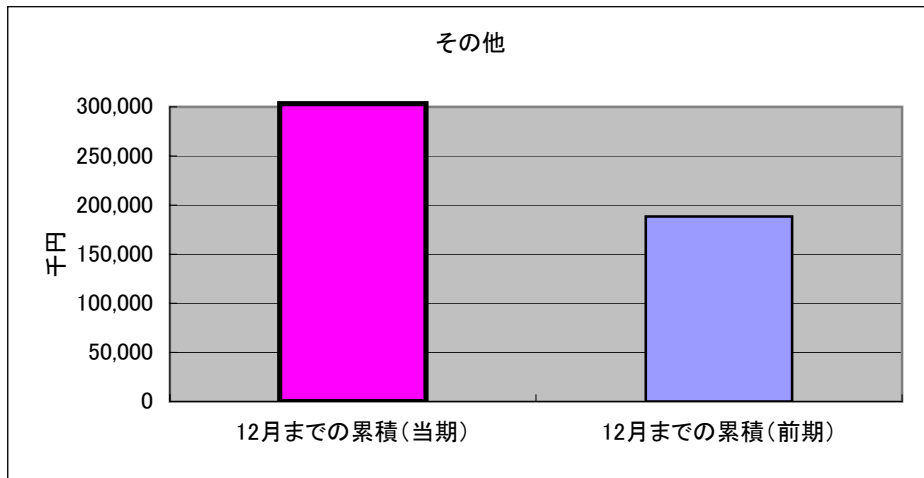
### 【第3四半期】

遊具・自転車カテゴリーは「いきなり自転車かじ取り式」が当第3四半期で発売後1年を越えましたが、需要飽和の様子を見せず依然成長路線を続けています。幼児自転車全般では消費低迷の影響を受けているはずですが、「いきなり自転車」は実売価格を下げなくとも売れるとの評判を引き出し、自転車流通への拡販後の販売店各社が価格競争しない状況で売り伸ばしているのが当期の特徴です。

### 【11~12月度】

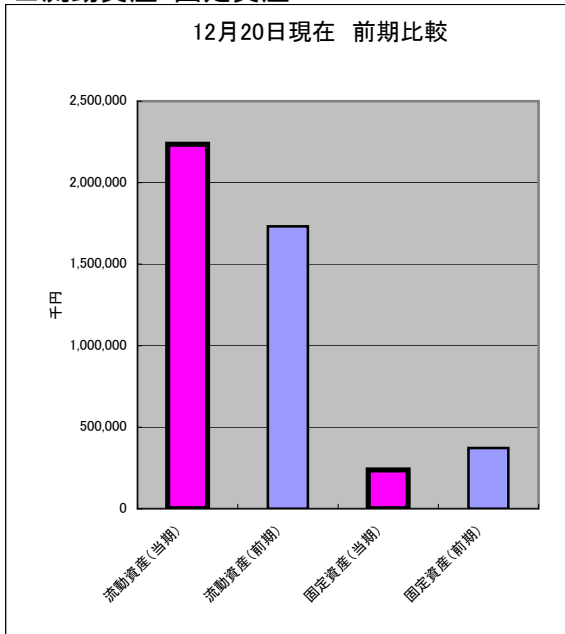
自転車ではほぼ計画通り出荷促進され、当月下旬では先付け出荷確定分で年内生産数が売約済みとなり、年明け分の前倒し準備にかかりました。

<その他(季節もの玩具・海外販売等)>



## ＜財務の状況＞

### ■流動資産・固定資産



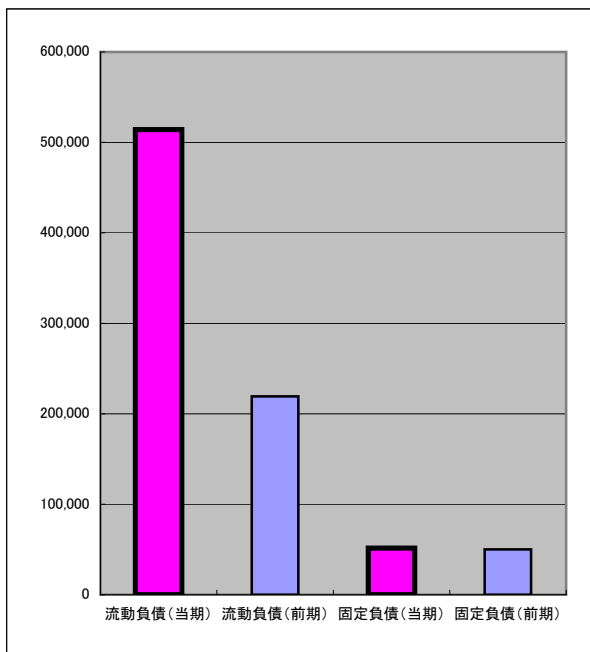
当第3四半期末における資産合計は、前事業年度末に比べて、2億47百万円増加し22億37百万円となりました。流動資産では、年末に向けて売上が増加するとともに、売掛金の回収が進んだこと等により1億72百万円増加し、固定資産においても主に投資有価証券の時価評価により75百万円の増加となりました。

負債は、主に、当第3四半期末をまたぐ仕入れ決済により買掛金が一時的に増加したこと、また、未払法人税等の計上により、前事業年度末に比べて1億88百万円増加となりました。

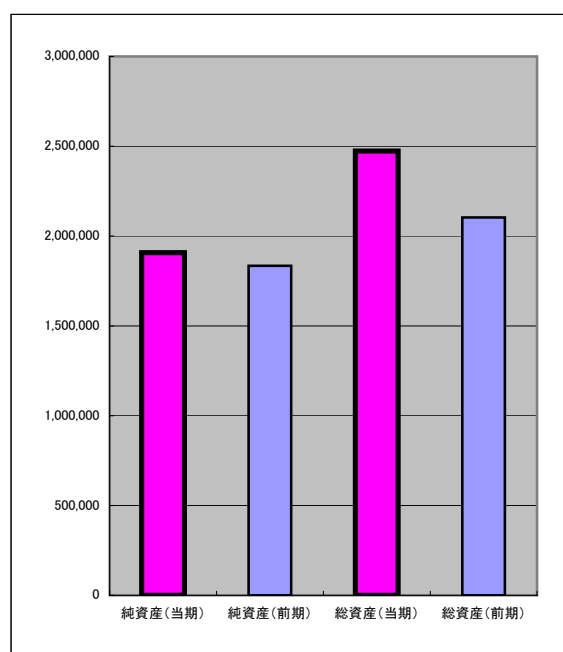
純資産は、保有株式の時価評価等により前事業年度末に比べ59百万円増加し、18億12百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は81.0%となりました。

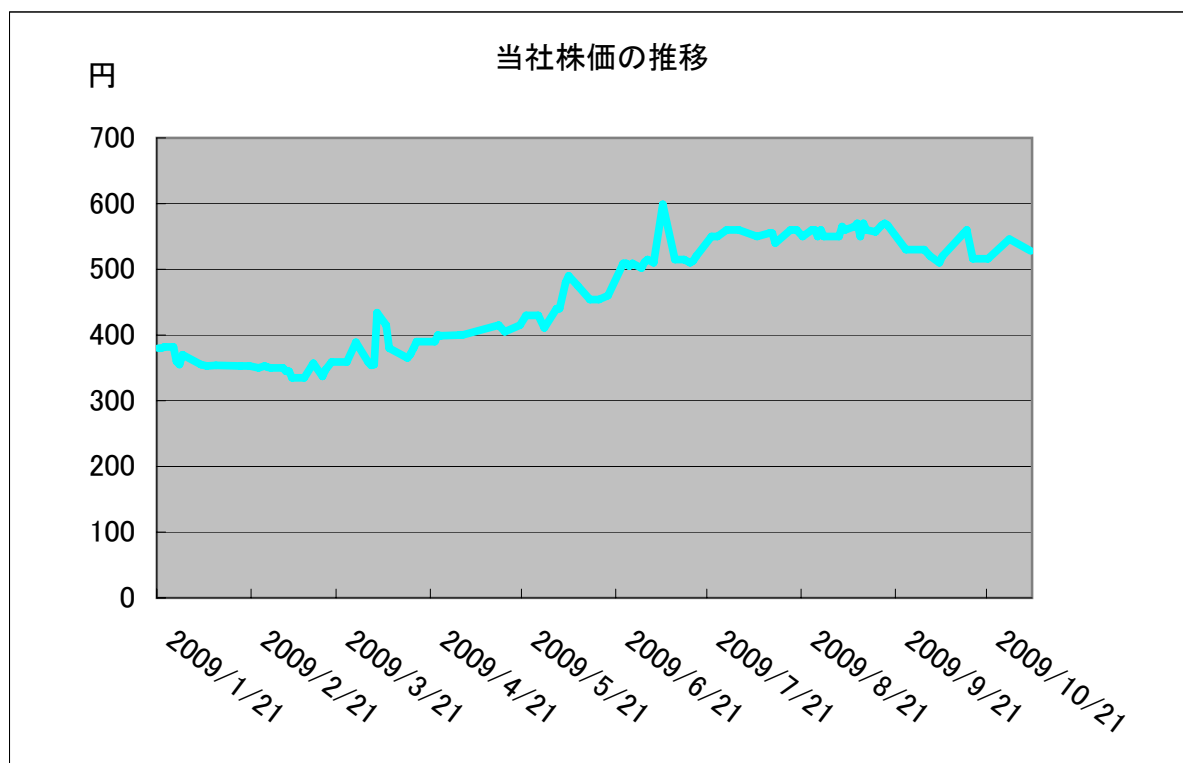
### ■流動負債・固定負債



### ■純資産・総資産



## ＜当社株価の推移＞



(2009/12/20現在)

◆発行済み株式数	4,437,500株
◆自己株式数	79,816株